

2024年度 事業計画

本年度は、診療報酬、介護報酬、障がい福祉サービス等報酬の同時改定、医師の働き方改革の開始のほか、医療機能情報提供制度における医療情報ネット導入、かかりつけ医機能報告制度の創設に向けた検討、医療DX関連の施策の推進など、保健医療に係る重要な施策が進められる。また、新たな「北海道医療計画」も開始される。

会員病院がこれら諸問題に円滑かつ適切に対処できるよう国や道から積極的に情報収集を行い、会員に提供するなどして、的確に対応していく。

新興・再興感染症については、昨年度に改正された感染症法に基づく新たな枠組みに会員病院が適切に対応することができるよう道医師会等関係医療団体とも連携し、必要な措置について、国や道に対し要望する。

また、従前からの「地域医療構想」の実現に当たっては、地域の議論の中核を担う地域医療構想調整会議の果たす役割がより一層重要となることから、各地域において協会役員及び会員が積極的に調整会議に参画し、提言を行えるよう支援する。

学術事業の中心である恒例の北海道病院学会を2024年7月13日（土）に、札幌市内で開催する。

また、従来通り、医療提供における最大の命題である「医療安全を中心とする医療の質の向上」に資するよう、医療従事者に対する各種研修会を適時開催する。

地方における医師不足や偏在が深刻さを増す中、これまでのコロナ禍も相俟って会員病院施設の維持運営がより一層厳しい状況に陥っていることを踏まえ、緊急臨時的医師派遣事業による医師確保のみならず、ICTを利活用したオンライン化等、医療体制確保のための新たな方策の活用についても積極的に検討する。

協会組織を活性化し、安定的な活動を行っていくためには、その基盤となる会員の一層の増強が必要なことから、当協会の理念や活動に賛同する新入会員の加入勧奨に取り組む。

北海道病院協会としては、本年度においても、会員相互の協力のもと、道医師会等関係団体とも密接に連携しながら、北海道の医療提供体制の充実を図り、地域医療の質の向上及び会員病院の経営基盤の安定に寄与する活動を行う。